

当院における扁桃周囲膿瘍の現状

壺坂俊仁 中村健大 永藤裕 小柏靖直
金谷毅夫 守田雅弘 甲能直幸

杏林大学耳鼻咽喉科・頭頸科

西東京の救急医療を担う当施設では入院加療が必要な救急疾患として扁桃周囲膿瘍は頸部膿瘍とともに頻度が高い。本疾患は副咽頭間隙に膿瘍を形成したり、喉頭あるいは深頸部や縦隔へ進展した場合、重篤な呼吸不全状態を引き起こす可能性もある。治療については他院ですでに抗生剤等の投与されているため、当院ではペネム系を中心とする広域スペクトルの抗生剤の点滴治療、穿刺、切開排膿などの処置を施行している。

今回我々は2004年4月から2007年4月に当院を受診した扁桃周囲膿瘍のうち細菌検査を施行した62症例について、血液検査所見、随伴疾患などを検討し、文献的考察を加え報告する。